



## ACCESS

|              |              |                         |                 |                     |
|--------------|--------------|-------------------------|-----------------|---------------------|
| 4 至出町柳       |              | 平安神宮                    |                 | 丸太町通                |
| 鴨川           | 神宮丸太町駅       |                         |                 |                     |
|              | 冷泉通          | 美術館                     | ロームシアター京都       | 岡崎公園<br>駐車場         |
| 京阪電車         |              | みやこあわせ<br>京都国立<br>近代美術館 | ● 京都市<br>京セラ美術館 | ● 二条通<br>京都府<br>勧学館 |
|              | 三条駅<br>三条京阪駅 | 地下鉄東西線 東山駅              |                 | 仁王門通<br>至六地藏・びわ湖浜大津 |
| 至淀屋橋・<br>中之島 | 東大路通         | 神宮道                     |                 | 三条通<br>岡崎通          |

### 交通案内

京都市バス

- ・「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、
- ・「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこあわせ前」下車徒歩約5分、
- ・「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分

### 地下鉄東西線

- ・「東山駅」下車徒歩約10分

- ・当館には駐車場がありません。岡崎公園駐車場(地下)をご利用ください。
- ・岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。



お問い合わせ

会場 京都国立近代美術館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町

TEL. 075-761-4111 <https://www.momak.go.jp/films/>



▲ 萌の朱雀 ©WOWOW+BANDAIVISUAL ▼ キツツキと雨 ©2011「キツツキと雨」製作委員会

ゆれる ©2006「ゆれる」製作委員会 ▶



## PROGRAM

# 現代日本映画監督特集 1



## PROGRAM

本年度は、ピピロッティ・リストの回顧展に伴い女性映画監督に焦点をあてた『河瀬直美特集』を皮切りに、6月、8月、11月の3回に渡って、1990年代—2000年代にデビューした日本映画監督特集をお届けします。8月は是枝裕和監督と是枝組出身の西川美和監督、11月は富樫森監督と沖田修一監督の作品を、国立映画アーカイブで近年収蔵した35mmニュープリントで上映します。現代日本映画を代表する監督たちの初期作品を中心に、それぞれの個性とフィルムでの表現をお楽しみください。

# FILMS

## INFORMATION

上映作品は予告なく変更する場合があります。  
上映作品、各回のスケジュールについては  
京都国立近代美術館HPにてご確認ください。  
<https://www.momak.go.jp/films/>

料金 | 1プログラム 520円 (オンライン事前予約制のみ)  
中学生以下は無料。  
心身に障がいのある方と付添者1名は無料(要証明)。  
当日に限り、本券でコレクション展もご覧いただけます。

先着 30席  
会場内での飲食はご遠慮ください。

主催 | 京都国立近代美術館(MoMAK)、国立映画アーカイブ(NFAJ)



オンライン事前予約  
はこちらから



▶ あん ©2015 映画あん製作委員会  
COMITÉ DES CINÉMAS  
TWENTY TWENTY VISION / ZDF-ARTE

▶ 花より男子 ©2005「花より男子」フィルム・パートナーズ

▶ ごめん ©2002「ごめん」製作委員会

06.11  
06.12  
06.13

河瀬直美

NAOMI  
KAWASE

06/11|金| 14:00-15:35

萌の朱雀

(95分・35mm・カラー・英語字幕付)

1997(WOWOW/バンダイビジュアル)

監・脚 河瀬直美 撮 田村正毅

美 吉田悦子 音 茂野雅道

出 國村隼、尾野真千子、和泉幸子、柴田浩太郎、  
神村泰代、向平和文、山口沙弥加

河瀬の長篇第1作。林業が衰退し過疎化が進む奈良県西吉野村(現在の五條市)を舞台に、父親の「不在」を受け容れ、それぞれの道を歩み始める家族の姿を描く。國村隼を主演に、地元出身の尾野真千子ほか素人の役者を中心とする静謐なドラマに仕立て、1997年の第50回カンヌ国際映画祭カメラドールに輝いた。美しい陰影をたたえた撮影は名手・田村正毅。また、要所に挿入される村人たちの8mm映像は河瀬自身の撮影による。



萌の朱雀

06/12|土| 14:00-15:36

河瀬直美初期短篇集

(計96分・DCP/Blu-ray・カラー)

18歳で大阪写真専門学校(現・ビジュアルアーツ専門学校)に入学し、初めてフィルムカメラを手にして撮った河瀬の初期映像作品集。自身の主演によるフィクション作品、以後の河瀬の活動を語るうえで欠くことのできない存在となる養母の「おばあちゃん」にカメラを向けた作品、等身大の女性の生きざまを描いた卒業制作作品など、みずみずしい感覚にあふれた短篇をラインナップ。オリジナル素材は8mm、16mm。

私が強く興味をもったものを大きくFixできとりる  
(5分・DCP・無声・カラー) 1988 監・撮 河瀬直美

私が生き生きと関わってこうとする事物の具体化  
(5分・DCP・無声・カラー) 1988 監・撮 河瀬直美

my J-W-F  
(7分・DCP・無声・カラー) 1988 監 河瀬直美

パパのソフトクリーム  
(4分・DCP・カラー) 1988 監 河瀬直美

小さな大きさ  
(13分・DCP・カラー) 1989 監・撮 河瀬直美

たったひとりの家族  
(13分・Blu-ray・カラー) 1989 監・撮 河瀬直美

今、  
(5分・Blu-ray・カラー) 1989 監 河瀬直美

女神たちのパン  
(24分・DCP・カラー) 1990 監 河瀬直美

幸福モドキ  
(20分・DCP・カラー) 1991 監 河瀬直美

06/13|日| 14:00-15:53

あん

(113分・DCP・カラー)

2015(映画「あん」製作委員会/COMME DES CINÉMAS/)

監・脚 河瀬直美 原 ドリアン 助川 穂 穂山 茂樹

美 部谷京子 音 デイビット・ハジヤジ

出 樹木希林、永瀬正敏、内田伽羅、水野美紀、  
竹内海羽、高橋咲樹、村田優吏愛、  
浅田美代子、市原悦子

原作はドリアン助川の同名小説。縁あってどら焼屋「どら春」の雇われ店長として単調な日々をこなしていた千太郎(永瀬のもとに、アルバイト志願の老女・徳江(樹木)が訪ねてくる。徳江のおかげで店は繁盛するが、やがて徳江への心ない噂が広まり…。よるべなさを抱えた者同士の交流の先に、「生きる意味」を問いかける物語は、ここまでの河瀬の表現者としての思索の道程があればこそ。樹木希林の最後の主演作。



あん

08.28  
08.29

是枝裕和  
西川美和

HIROKAZU  
KOREEDA  
MIWA  
NISHIKAWA

同時開催の展覧会  
2021年度 第2回コレクション展  
2021年6月24日(木)ー8月29日(日)

08/28|土| 14:00-16:08

花よりもなほ

(128分・35mm・カラー)

2006(「花よりもなほ」フィルムパートナーズ)

監・原・脚 是枝裕和 撮 山崎裕

美 磯見俊裕、馬場正男 音 タブラトゥーラ

出 岡田准一、宮沢りえ、古田新太、香川照之、  
田畑智子、上島竜兵、木村祐一、加瀬亮、  
千原靖史、平泉成、絵沢萌子、夏川結衣、  
國村隼、中村嘉徳雄、浅野忠信、原田芳雄

父親の敵を討つために江戸へやって来た青木宗左衛門(岡田)。しかし、気が弱く剣術にも疎い宗左衛門は、貧乏長屋で暮らすうちに少しずつ心変わりしてゆく。是枝裕和監督の現時点で唯一の時代劇で、京都・太秦の松竹撮影所で撮影。「弱さ」を見据える視点、復讐の物語を通して浮かび上がる「罪と罰」の問題、寺子屋の描写に顕著な子どもと地域社会の関係性など、是枝作品の一貫したテーマが明確に表れている。



花よりもなほ

08/29|日| 14:00-15:59

ゆれる

(119分・35mm・カラー)

2006(「ゆれる」製作委員会)

監・原・脚 西川美和 撮 高瀬比呂志

美 三ツ松けいこ 音 カリフラワーズ

出 オダギリジョー、香川照之、伊武雅刀、  
新井浩文、真木よう子、蟹江敬三、木村祐一、  
ビュール瀧、田口モロヲ

母の一周忌で帰郷した写真家(オダギリ)が、元恋人(真木)と兄(香川)と渓谷へ出かけたが、彼女がすり橋から転落。殺人容疑で兄の裁判が始まる…。事故か事件か、弟は目撃したのか、真実は何か。多くの疑問と兄弟の葛藤が交錯する、緊張感に満ちた心理劇。西川美和の長篇第2作で、是枝裕和が企画に参加。日常生活を見つめながら人間の奥深くに秘められた心理を冷徹に描きだした本作は、同年の映画賞を多数受賞した。



ゆれる

16:10-17:10

アフタートーク

登壇者

伊藤諒司(MAGICAエンタテインメントメディアサービス)

聞き手・司会

富田美香(国立映画アーカイブ主任研究員)

今回の『ゆれる』で上映する50%銀残し35mmニュープリントについて、現像作業を行ったIMAGICAエンタテインメントメディアサービス(旧IMAGICA Lab.大阪プロダクションセンター)の技術者を招いてアフタートークを開催。“銀残し”の仕組みと表現、その復元からフィルム特有の魅力など、わかりやすく解説します。



ゆれる

11.27  
11.28

富樫森  
沖田修一

SHIN  
TOGASHI  
SHUICHI  
OKITA

同時開催の展覧会  
上野リチ:  
ウィーンからきたデザイン・ファンタジー  
2021年11月16日(火)ー2022年1月16日(日)

11/27|土| 14:00-15:43

ごめん

(103分・35mm・カラー)

2002(「ごめん」製作事業委員会)

監 富樫森 原 ひこ・田中

脚 山田耕大 撮 上野彰吾

美 三浦伸一 音 大友良英

出 久野雅弘、櫻谷由貴花、佐藤翔一、栗原卓也、  
斎藤歩、小牧芽美、森毅、伊吹友木子、  
三田篤子、河合美智子、國村隼

『お引越し』(1993、相米慎二)のひこ・田中の同名小説が原作で、京都の少女(櫻谷)に恋をした大阪の少年(久野)の葛藤をユーモアとほろ苦さを交えて描いた快作。長篇デビュー作『非・バランス』(1998)で注目を集めた富樫森監督の第2作で、性に目覚めた小学6年生の男の子が年上の少女に恋して成長していく姿が、活き活きととらえられている。特に躍動感と切なさに溢れた、京都へと向かう自転車疾走シーンは秀逸。



ごめん

11/28|日| 14:00-16:09

キツツキと雨

(129分・35mm・カラー)

2011(「キツツキと雨」製作委員会)

監・脚 沖田修一 脚 守屋文雄

撮 月永雄太 美 安宅紀史 音 omu-tone

出 役所広司、小栗旬、高良健吾、臼田あさ美、  
古館寛治、森下能幸、リイ、嶋田久作、  
平田満、伊武雅刀、山崎努

妻を亡くし、地元の林業で暮らす無骨な中年男(役所)が、ゾンビ映画の撮影に来た気弱な若手監督(小栗)にはからずも協力するうちに、スタッフの一員と化し、息子との関係も修復していく…。商業映画デビュー作の『南極料理人』(2009)で数々の賞を受賞した沖田修一の第2作。山間の村に突然現れた撮影隊とロケ地の人々との交流を軽妙に描いた心温まるコメディ。岐阜、南木曽のロケ地の魅力とともに、役所広司が抜群の存在感を見せる。



キツツキと雨

Contemporary  
Japanese  
film director

MoMAK  
FILMS

PROGRAM

現代日本映画

監督特集 1

2021

06.11-13  
08.28-29  
11.27-28